

2020 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時:2020 年 5 月 14 日(木)18:00~20:10

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、相木、秋友、安藤、石井、石坂、磯辺、市川、植原、植松、江淵、大島、岡、小埜、小畑、郭、川合(美)、川合(義)、河宮、北出、轡田、久保川、根田、齊藤、須賀、杉崎、鈴木、宗林、武田、多田、千葉、張、津田、東塚、中村、西岡、羽角、原田、日比谷、広瀬、本多、升本、道田、三寺、見延、森本、安田(一)、安田(珠)、山中、安中、吉川、寄高 各評議員(53 名)

永田三賞選考委員長(前)、上野論文賞選考委員長(前)、福田環境科学賞選考委員長(前)、梅澤海洋環境問題研究会・海洋環境委員会会長、乙坂海洋観測ガイドライン編集委員長、吉田海の研究編集委員長、帰山幹事、高橋幹事、西部幹事、三角幹事、毎日学術フォーラム(平坂)

委任状:岩坂、千手、中野、花輪 各評議員(4 名)

開会に先立ち、北出集会担当幹事より、出席者 64 名、委任状 4 通で評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

議題

1. 会長挨拶(神田会長)

評議員会開催に先立ち、神田会長より挨拶があった。

2020 年度の春季大会の現地開催が実施できなくなり評議員会もオンライン開催となったことが述べられ、このような状況において出席頂いた評議員の方々に感謝の意が示された。

磯辺篤彦会員、日比谷紀之会員、が令和 2 年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞したこと、植松光夫会員が JpGU フェローの称号を授与されたことが報告され、祝意が示された。

日本海洋学会が中心となって提案していた「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」が、文部科学省が推進しているマスタープラン 2020 の重点大型研究計画として採択され、ロードマップ 2020 への採択に向け申請中であることが報告された。日比谷会員をはじめとした本提案の策定に協力頂いた会員の方々に感謝の意が示された。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により学会運営も難しい状況にあるが、2021 年には持続可能な開発のための国連海洋科学の 10 年が開始され、日本海洋学会も設立 80 周年の節目の年に向かっている最中であり、学会員の方々の協力を得ながら難局を乗り越えていく所存であることが述べられた。

最後に、評議員会の開催時間を 18 時からとしたことについて、オンライン開催であれば一般的

な勤務時間内での開催を考慮するべきではないかという意見があったことが述べられ、今後、評議員会をオンライン開催とする場合、開催時間に留意することが述べられた。

2. 報告事項

1) 会務報告

庶務(岡幹事)

2020年3月時点の会員の異動状況について報告された。

編集

① JO(江淵編集委員長)

JO Vol. 74(1)から Vol. 76(3)までの発行状況について報告された。また、2011年から2019年の論文の投稿・受理状況について報告された。今後予定されている2件のスペシャルセクションについて報告された。また、編集委員の交代について報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

総説やシンポジウムなどの特集を中心に掲載を行い、迅速な審査を行うことが活動方針として述べられた。2019年度は28巻3号、4-5-6合併号、29巻1号、2号の計4号、全8編の論文を発行したことが報告された。また、海の研究で出版された総説を授業等で活用すること勧めていることが述べられた。

③ JOS ニュースレター(安藤編集委員長)

2019年度は9巻1-4号を予定通り発行したことが報告された。2020年度は10巻1-4号を発行予定であることが報告された。

研究発表(西部幹事)

2019年度秋季大会の実施について報告された。2020年度春季大会はJpGU-AGU Joint meeting 2020にて開催される予定であり、期日が2020年7月12日～16日に延期されたことが報告された。2020年度秋季大会については本評議員会での審議事項であることが述べられた。2021年度以降に開催の大会の予定について報告された。

賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞(永田前委員長)

選考過程および選考結果について報告された。

② 日高論文賞・奨励論文賞(上野前委員長)

選考過程および選考結果について報告された。

③ 環境科学賞(福田前委員長)

選考過程および選考結果について報告された。

選挙管理(安田幹事)

各賞可否投票および各種選考委員選挙の結果について報告された。

広報委員会(安中委員長)

2019年度に実施した活動について報告された。「海の出前授業」の実施状況、JpGUブースでの広報活動、Webサーバーの更新や英語ページの増補、海洋学を学べる大学一覧の掲載等を行ったことが報告された。2020年度の活動について計画が述べられた。

海洋環境委員会(梅澤委員長)

2019年度青い海助成事業の応募がなかったこと、2020年度分については1件の応募があり、審議の結果採択したことが報告された。

海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂委員長)

海洋観測ガイドライン英文第4版を出版し、IODEのOcean best practicesレポジトリにDOI付きの著作物として収録されたことが報告された。委員の交代、2020年度活動計画について報告された。

西南支部(広瀬支部長代理)

2019年度に実施したシンポジウムの実施状況および2020年度のシンポジウムの実施計画について報告された。

海洋環境問題研究会(梅澤研究会会長)

2019年度に実施した活動について報告された。2018年度の秋季大会で実施した東京湾に関するシンポジウムの特集号を「海洋と生物」の2019年4月号、6月号として出版したことが報告された。また、梅澤研究会会長がJpGUのパブリックセッションにおいて招待講演を行ったこと等が報告された。2020年度の活動計画について報告された。

沿岸海洋研究会(多田研究会会長)

沿岸海洋研究が年1回の発行になること、表示デザインが新しくなったこと等が報告された。沿岸海洋研究会で2年に1回授与している速水論文賞の選考結果について報告された。

海洋生物学研究会(杉崎研究会会長)

「海洋生物シンポジウム2020」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことが報告された。要旨集は発行され、投稿された要旨は業績として認めることとしたこと等が報告された。

教育問題研究会(須賀研究会会長)

2019年度に実施した活動について報告された。海のサイエンスカフェ(年2回)、大学施設を利用した海洋教育の実践、「女子中高生夏の学校2019」への出展協力、教員研修関係の講師派

遣、海洋科学コミュニケーション実践講座、サイエンスアゴラ 2019 公募企画ブースの出展、「海の出前事業」講師派遣、次期学習指導要領改訂に向けた活動等を実施したことが報告された。

2020 年度の活動計画について報告された。海のサイエンスカフェはオンラインで実施する予定であることが報告され、その他の活動についてもオンラインで実施可能なものについてはオンラインで実施する予定であることが報告された。

ブレイクスルー研究会(書面確認のみ)

2019 年度の活動報告、2020 年度の活動計画を書面にて確認した。

2) 学界関連報告

学界動向(伊藤副会長)

学界関連の動向について報告された。詳細については JOS ニュースレターに掲載される。

日本地球惑星科学連合(川合幹事)

JpGU の代議員、セクションプレジデント、理事候補が選出されたこと(それぞれ任期は 2 年)が報告された。大気水圏科学セクションは、谷口真人教授(総合地球環境学研究所)がセクションプレジデントに就任したことが報告された。

JpGU-AGU Joint Meeting 2020 は現地開催が中止され、7 月 12 日～16 日にオンラインで開催されることになったことが報告された。通常講演は iPoster 形式で実施され、希望のあったセッションについては Zoom を用いたディスカッション・フォーラムセッションが実施される予定であることが報告された。

植松光夫会員が JpGU フェローの称号を授与されたことが改めて報告された。

JpGU の中に設置された環境防災対応委員会が主催するパブリックセッション「変化する気候下での強風被害にどう取り組むか」については、来年度に延期されることになったことが報告された。(北出幹事)

水産・海洋科学研究連絡協議会(北出幹事)

2019 年 11 月 28 日に連絡協議会が開催され、2019 年度の春季大会、秋季大会の実施状況やマスタープランの進捗等について連絡協議会にて報告したことが報告された。

3) その他

一般社団法人化是非の検討開始について(安田幹事)

幹事会にて日本海洋学会の一般社団法人化是非の検討を開始したことについて報告された。今後、幹事会での検討を進め、審議が必要な事柄については適宜評議員会に諮ることが報告された。

3. 審議事項

1) 賞選考委員の委嘱について(神田会長)

三賞、論文賞および環境科学賞の選考委員について、半数改選の結果をへて三賞選考委員 4 名、論文賞選考委員 4 名、環境科学賞選考委員 2 名への委嘱が承認された。4 月中に 3 つの賞選考委員会が開かれ、委員の互選により委員長が選出されたことが報告された。三賞選考委員として 2 名の追加委嘱が提案され、承認された。

2) 2020 年度秋季大会について(西部幹事)

2020 年 9 月 23 日～27 日に北海道大学函館キャンパスで実施予定であった秋季大会について現地大会開催を中止することが提案され、承認された。

代替となる研究発表機会の確保についてオンライン開催を含め、幹事会で検討中であることが報告された。代替となる研究発表機会の開催方式について質疑が行われた。

3) 受賞記念講演座長について(岡幹事)

受賞記念講演座長について承認された。

4) 2019 年度事業報告並びに決算報告について(岡幹事、安田幹事)

2019 年度事業報告並びに決算報告について、事業報告資料の間違いを修正した上で承認された。

5) 2019 年度監査報告について(宗林監査)

2019 年度監査報告について承認された。

6) 2020 年度事業計画並びに予算案について(岡幹事、安田幹事)

2020 年度事業計画並びに予算案について承認された。

予算案に関連して Web 名簿(学会マイページにて会員名簿を閲覧できるようにする)の導入が提案され、承認された。

繰り越し金の今後の見通し、大会開催費の取り扱いについて質疑があった。

7) 2020 年度通常総会議事次第案について(岡幹事)

2020 年度通常総会議事次第案について承認された。

総会は書面とオンラインの投票を組み合わせた形式で実施することが報告された。

以上